

- 日本国憲法 ○ 教育基本法
- 学校教育法 ○ 学習指導要領
- 都・町教委の方針・教育目標
- その他の関係法規・規則等

<学校教育目標>

- **心ゆたかで、思いやりのある子供**
- **ねばり強く学習する子供**
- **すずんで体をきたえる子供**

児童の実態・発達段階
 学校・家庭・地域の実態
 時代・社会の要請
 教師・保護者の願い

<特別活動における道徳教育>

- ◇ 望ましい集団活動を通して、集団の一員としての自覚を促し、自主的・自治的な能力を育て、自発的・実践的な態度を育成するとともに、道徳的体験を重視し、豊かな道徳実践に資する。
- 学級活動…日常の学級・学校生活への適応に関する指導を通して、道徳的判断力、道徳実践力の向上を図る。
- 児童会活動…児童の自発的・自治的な実践活動を通して道徳性を育成し、道徳実践意欲を喚起する。
- クラブ活動…異なる学年・学級、男女が協力し生活を充実させるための活動に積極的に参加することを通し、道徳性を育成する。
- 学校行事…行事への積極的な参加を通し、集団の一員としての自覚を高め、協力、責任、勤労、奉仕などの道徳性の育成に資する。

<道徳教育の目標>

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を生活に生かし、社会の中で自制、自立及び協調できる主体性のある児童を育成するためにその基盤としての道徳性を養う。

<道徳教育の重点目標>

心豊かで思いやりのある子供を育成するために、道徳科の指導を充実し、道徳的心情を高め、道徳実践力を育成する。特に、親切、思いやり、友情、信頼に関する内容に重点を置き、児童の道徳性の育成を図る。

<教科指導の重点>

- ◇ 児童自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力の育成を図る。
- ◇ 基礎的・基本的な内容の指導を徹底し、個性を生かす教育の充実を図る。
- ◇ 体験的な活動を重視するとともに、児童の興味、関心を生かし、自主的自発的な学習が促進されるよう、指導法の改善充実を努める。
- ◇ 教師と児童、及び児童相互の好ましい人間関係を育てるとともに、児童理解を深め指導の充実を図る。

<生活指導における道徳教育>

- ◇ 基本的な生活習慣の定着を図り、決まりや約束を守って協力するなど、集団の一員として正しく行動する自律的な生活態度を育てる。
- ◇ 避難訓練や学級での安全指導を通して、生命尊重の精神を育てるとともに、集団行動の決まりや交通規則などをすずんで守ろうとする態度を育てる。
- ◇ 給食・清掃活動などを通して、互いに協力して仕事に取り組み、すずんでやり遂げようとする態度を育てる。
- ◇ 健康診断や身体測定などにおける保健指導を通して、自分の体や健康に関心をもち、自分で守り育てようとする実践的な態度を育てる。

<道徳教育の方針>

- ◇ 全校の教師と児童、児童相互の人間関係を深める。
- ◇ 日常生活の具体的な活動の中で、基本的な生活行動様式を体得させ、さらに道徳実践力を高める。
- ◇ 内面に根ざした道徳性の育成を図る。
- ◇ 各教科・特別活動・総合的な学習の時間における道徳教育の重点との相互関連を重視し、学校教育全体で行うという基本を明確にする。
- ◇ 児童や学級、学校の実態を把握し、それに応じた指導法を創造する。
- ◇ 家庭や地域社会との連携を密にし、実生活に適合した指導を推進する。

<各教科における道徳教育の重点>

- ◇ 各教科の目標に基づき、それぞれの教科固有の指導を充実させる過程で道徳教育も行われる。
- ◇ 各教科の目標や内容には、児童の道徳性の育成に関する事項が、直接・間接に含まれている。各教科の目標と道徳教育の関連を位置付ける。
- 国語…文学的作品の読みを通して豊かな心情を育む。また、国語を尊重する態度を育て、我が国の文化や伝統を大切にすることを育てる。
- 社会…社会生活についての理解を図り、社会の形成者としての必要な公民的資質を育てる。
- 算数…日常の事象を見通しをもち、筋道を立てて考える能力を育て、数理的にものごとを考え、処理する態度を育てる。
- 理科…自然に親しみ、関心をもち、問題解決の能力を育て、科学的な見方や考え方を養うとともに、自然を愛する心情を育てる。
- 生活…具体的な活動や体験を通して、自分と身近な社会や自然との関わりに関心をもち、自分自身や自分の生活について考えさせる。そして、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。
- 音楽…音楽を愛好する心情や音楽に対する感性を涵養し、美しいもの、崇高なものを尊重する心を育む。
- 図工…つくり出す喜びを味わわせるとともに、造形的な創造活動の基礎的能力を育て、豊かな情操を養う。
- 家庭…日常生活に必要な基礎的な知識と技能は、家庭生活への理解を深め、家族の一員として、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。
- 体育…健康や安全に留意し、明るく楽しい生活を営む態度を育成する。
- 外国語…積極的に人や社会と関わり、自己を表現し、他者の気持ちを理解しようとする心を育む。

<総合的な学習の時間における道徳教育>

児童の興味や関心に基づく体験的な学習を通して、どんな場面でも他人と協調しつづ、自律的に社会生活を送るために必要な、豊かな人間性を育てる。人間としてよりよく生きるために必要な、人格の基盤となる道徳性を育成する。

<学年の重点目標>

学年	指導の重点	重点内容
1	・ 友達と仲良くし、助け合う。 ・ 気持ちのよい挨拶をする。	B 友情、信頼 礼儀
2	・ みんなと仲良く活動し、助け合う。 ・ 気持ちのよい挨拶や言葉遣いをする。	B 友情、信頼 礼儀
3	・ 相手のことを思いやり親切にし、友達と協力し助け合う。 ・ 相手の気持ちに応じた挨拶、言葉遣いをする。	B 親切、思いやり 礼儀
4	・ 相手の立場や気持ちを尊重し、互いに理解し、信頼し、助け合う。 ・ 礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接する。	B 親切 思いやり 礼儀
5	・ 相手の立場や気持ちをよく考えて思いやり親切にする。 ・ 礼儀正しく、相手の対面に立って真心をもって接する。	B 親切 思いやり 礼儀
6	・ 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。 ・ 互いに信頼し、友達と友情を深め、男女仲良く協力し、助け合う。 ・ 時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。	B 親切 思いやり 友情、信頼 礼儀

<教育環境の整備>

- ◇ 人間関係の充実
 - ・ 児童一人一人が互いに認め合い、助け合い、励まし合い、学び合う場と機会を積極的に設ける。
 - ・ 教師と児童、児童相互の関係を豊かで信頼し合えるものとする。
- ◇ 校舎、校庭の整備、その他の工夫
 - 環境美化、整理・整頓の工夫
 - 愛校心や郷土愛などを育てる展示物の工夫
 - 道徳性を育てる情報に関する掲示物の工夫
 - 言語環境、学級、学校の図書の実充

<道徳科>

- ◇ 全教育活動で行われる道徳教育との関連を明確にし、児童の発達段階に即し、道徳的価値全体にわたって、計画的、発展的に指導する。
- ◇ 各教育活動において行われる道徳教育を、調和的に補充、深化、統合する。
- ◇ 一人一人の児童の道徳的心情を豊かにし、道徳的判断力と道徳的実践意欲を高めるとともに、道徳的価値の自覚を深め、道徳的実践力を育成する。
- ◇ 児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導の過程や成果を評価し、指導の改善を行い学習意欲の向上に生かせるよう評価の充実を図る。

<その他の教育活動>

- ◇ 創意を生かした時間を通して、縦割り異年齢集団による活動を実施し、思いやりの心と望ましい人間関係と社会性、愛校心・郷土愛の精神を育てる。
- ◇ 畑・花壇の活用、各行事等を通して学んだ、ボランティアの心、協力する態度を養うとともに、環境を大切にすることを培う。
- ◇ 教師の創意ある指導により個性の伸長を図る。特に児童同士、児童と教師の人間関係・信頼関係を育て、学校生活にゆとりと潤いをもたせる。

<家庭・地域社会との連携>

- ◇ 家庭・地域と積極的に関わることによって、望ましい道徳性の向上を図る。
 - 具体的な協力体制を確立する。
 - 学校、学級などの各種広報活動の充実を図る。
 - 地域と関わる体験学習等の組織化を図る。
 - 地域行事に参加する。
 - 各種団体との連携を密にする。